

北琉球沖縄語伊平屋方言の 疑問文の構造とイントネーション

Salvatore CARLINO

(大東文化大学)

- 本発表では沖縄語伊平屋方言の疑問文の構造とイントネーションについて述べる
- 疑問文の構造＝疑問文で見られる形式の形態的特徴・意味的特徴
- イントネーション＝疑問文で見られるイントネーションの変動の実現

すでにわかっていること・まだわからないこと

- 発表者の今までの研究で、伊平屋方言のイントネーションについて次のことが明らかになっている
- 疑問を表す形式がない場合にのみ上昇する音調を取るという木部（2010, 2019）で「相補タイプ」とされている類型である
- 疑問を表す形式が使用される場合、下降あるいは平板な音調が見られる

すでにわかっていること・まだわからないこと

- 今までの研究でYNQのイントネーションについて、=iという疑問形式に着目して記述を行った
- ただし、=iが直接名詞に接続して出現するデータが欠けていた。
- さらに、YNQで使われるもう一つ形式、=naという疑問形式のデータも足りなかった。
 - →今回は名詞述語文で追加
- WHQでは述語に現れる形式が義務的なのか、明らかではなかったが、文法性判断調査によって義務的であることがわかった。

地域と言語の概要

琉球列島

琉球諸語

北琉球

北琉球語郡

奄美諸島

奄美語

沖縄諸島

沖縄語

南琉球

南琉球語郡

宮古諸島

宮古語

八重山諸島

八重山語

0 50 100

伊平屋村

伊平屋島

田名

前泊

我喜屋

島尻

野甫

野甫島

具志川島

0 1 2 3 4 5km

伊平屋と伊平屋方言

- 伊平屋は人口は1126人。
- そのうち65歳以上は333
- 系統的に沖縄語に所属する。
- 主な話者層は50代以上だと考えるならば、話者数は300~400人程度と思われる。
- 発表者による記述文法(Carlino 2019)、文法スケッチ (Carlino 2022)で記述されている

アクセント

- A,B,Cという 3つの型がある。
- 松森（2 0 1 2）の3つのA,B,C系列に対応する
- 1音節名詞はA,Bという2つの型しかない。
- 各アクセント型はピッチの上昇で対立する
- ピッチを担うのはモーラである

A型：つねに高始まり

B型：単独で語末モーラに上昇。ただし、複数の助詞が連続する場合は1番目の助詞の最終モーラに。3モーラ助詞=nkanの場合は2番目のモーラに。

C型：語末モーラに上昇

音節	型	意味	単独	=ga	=madi	=madi=nu	=nkan
1	A	毛	[kii	[kii=ga	[kii=madi	[kii=madi=nu	[kii=nkan
	B	木	ki[i	kii=[ga	kii=ma[di	kii=ma[di=nu	kii=n[kan
2	A	鼻	[hana	[hana=ga	[hana=madi	[hana=madi=nu	[hana=nkan
	B	のみ	numi[i	numi=[ga	numi=ma[di	numi=ma[di=nu	numi=n[kan
	C	蚤	nuu[mi	nuu[mi=ga	nuu[mi=madi	nuu[mi=madi=nu	nuu[mi=n[kan
3	A	東	[agari	[agari=ga	[agari=madi	[agari=madi=nu	[agari=nkan
	B	日本	jamatu[u	jamatu=[ga	jamatu=ma[di	jamatu=ma[di=nu	jamatu=n[kan
	C	キャベツ	tama[na	tama[na=ga	tama[na=ma]di	tama[na=ma]di=nu	tama[na=madi=nu

データの概要・手法

- データは2017年~2024年の間に現地調査によって収集された。
- 伊平屋村字田名の60代の男性話者3名。
- 伊平屋村字島尻の60代の男性話者1名のデータも参照している

データの概要・手法

- データは以下のものからなる：
 - 翻訳式によるもの
 - 発表者が用意したものの文法性判断調査のもの
 - 以上のものの読み上げ
 - 自然談話から抽出したもの
- 分析はPraatを使用し、f0曲線の変動の観察によって行った。

疑問文の構造

疑問文の構造

- まず、疑問文に現れる形式を概観する。
- ここで疑問語、接辞、接語を表す形式をまとめて「疑問形式」と呼ぶ
- 疑問語を除いて他の形式は「疑問標識」と呼ぶ。

疑問文の構造

- 本発表では次の疑問標識を分析する。
- 使用される疑問文のタイプ、形式、接続先をまとめている。

		確認されている可能な接続先
WHQ	-(j)oo	動詞・形容詞
	=ga	名詞・動詞・形容詞
YNQ	=i	名詞・動詞・形容詞
	=na	名詞・動詞（コピュラのみ確認）

疑問文の構造

- 次はまずWHQの構造とYNQの構造を外觀する。

WHQ文の構造

WHQ文の構造

- WHQは疑問語と疑問標識が使用される。

疑問語

疑問人称代名詞

taa

tattaa

- taa「誰」にはtattaaという複数形がある。
- 疑問場所代名詞として2つのバリエーションがあり、片方が借用語である可能性がある。

疑問代名詞

nuu

疑問場所代名詞

maa / daa

疑問時間名詞

iči

選択疑問名詞

duuri

疑問数量名詞

čassa

疑問数詞

iku-

疑問理由名詞

nuuga

疑問様態詞

ičan

WHQの構造－疑問標識

- WHQでは疑問語と共起する疑問標識として、接語の=gaと接尾辞の-jooがある。
- 疑問語はもちろん、疑問標識の省略も**不可能である**。

WHQ形式-joo

- 動詞の場合動詞語根に直接接続する。
- 語基が子音の場合、jは削除される。

1)

nuu=ga a-joo?
何=NOM ある-WHQ
「なにがある？」

2)

maa=ke nz-oo?
どこ=ALL 行く-WHQ?
「どこに行く？」

WHQ形式-joo

- 形容詞の場合形容詞語幹に接続する。
- 形容詞語幹とは、形容詞語根と形容詞接尾辞-sa(ha)からなるもの。

3)

nuu=ga fussa-joo?

何=NOM ほしい-WHQ

「なにがほしい？」

WHQ形式=ga

- 動詞語幹に接続する。名詞に直接接続することが可能。

4)

nuu num-u=ga
何 飲む-NPST=WHQ
「何を飲む？」

5)

ari=ja	taa	in=ga?
あれ=TOP 何	誰.GEN	犬=WHQ
「あれは誰の犬？」		

6)

ari=ja	nuu ja=ga
あれ=TOP 何	COP=WHQ
「あれは何だ？」	

YNQの構造

YNQの構造

- YNQでは、文末に疑問標識が使用される。
- 名詞、動詞、形容詞に接続できると確認されている。
- 名詞には直接=iとして実現する。

YNQ形式=i

- 名詞、動詞、形容詞に接続できると確認されている。
- 名詞には直接=iとして実現する。
- 動詞、形容詞の場合、miという表層形が見られる。
- 深入りしないが、これは直説法接辞-nの以前の、mだった段階のものと融合している形と見られる。

YNQ形式=i

7)

uri=ja fuuga=i?
う り=TOP 卵=YNQ
「これは卵か？」

8)

nuu num-u-m=i?
何 飲む-NPST-IND=YNQ
「何を飲む？」

9)

nuu=gara fussa-m=i?
何=EXM ほしい.ADJ-IND-YNQ
「なにかほしい？」

YNQ形式=na

- 終助詞である。
- 名詞に後続することができる。
- コピュラ動詞に後続することも可能。
- 意味のレベルでは確認要求などのニュアンスがない。

10)

uri=ja fuuga ja-n=na?
これ=TOP 卵 COP-IND=YNQ
「これは卵か？」

11)

uri=ja fuuga=na?
これ=TOP 卵=YNQ
「これは卵か？」

疑問標識の過去形の実現

- 疑問標識の=gaと-tiiは、動詞の過去とき非過去形では異なる形式で実現する。
- =iはtiiは(YNQ)、=gaは=aとして実現する(WHQ)

12) nuu=gara uti-tii
何=EXM 落ちる-PST.YNQ
「何か落ちた？」

13) nuu=te i-ta=a
何=QT 言う-PST=WHQ
「何と言った？」

疑問標識の過去形の実現

- **-tii**について深入りしないが、**=ga**が**=a**として実現するというのは、通時的に見ると**-tii**に対応する類推変化として考えられる。

14)

koo-ta=ga → koo-ta=a

- **-ta**の後にそのまま**=ga**の場合もあるが、この実現は沖縄本島諸方言で見られ、借用語の可能性はある。

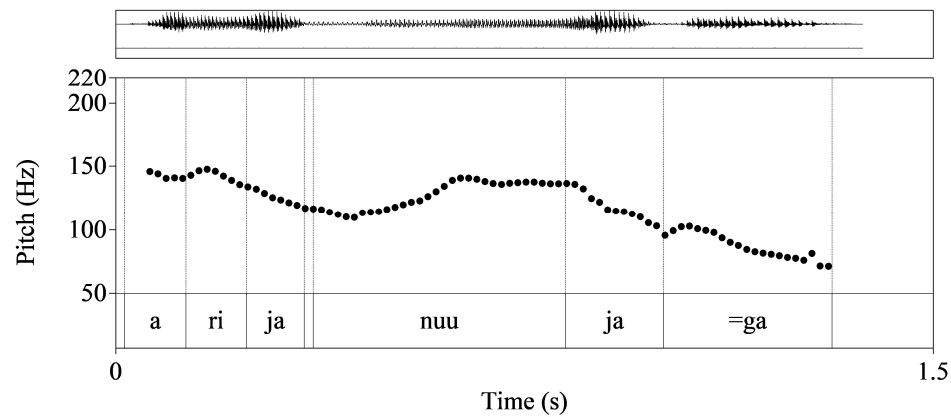
イントネーションの実現

イントネーションの実現

- 最後に、各形式のイントネーションの実現を記述する。

WHQの文末イントネーション

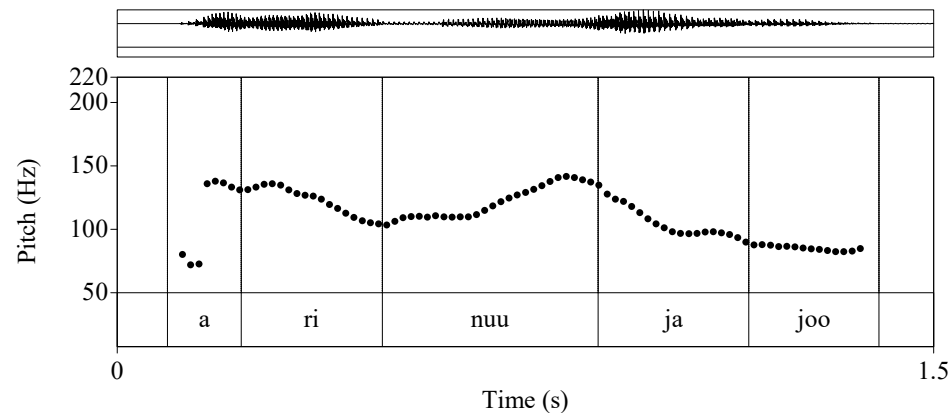
- =gaをとるWHQは下降する音調を取る



15) ari=ja nuu ja=ga
 あれ=TOP 何 COP=WHQ
 「あれは何だ？」

WHQの文末イントネーション

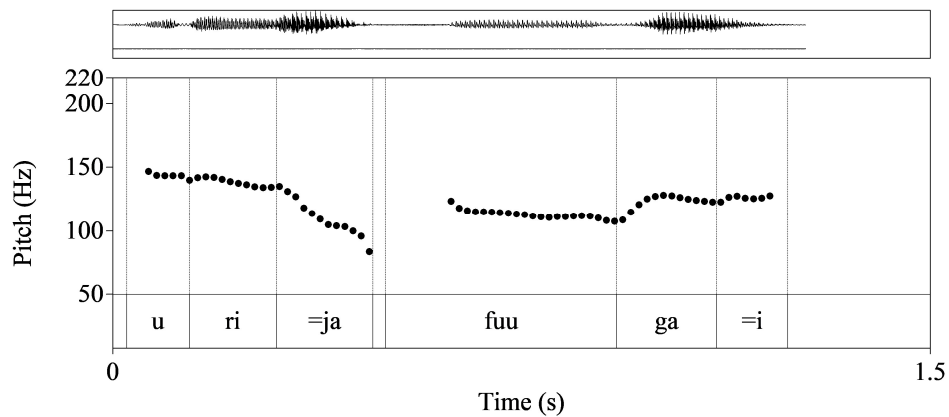
- -jooをとるWHQでも下降する音調を取る



- 16) ari=ja nuu ja-joo?
 あれ=TOP 何 COP-WHQ
 「あれは何だ？」

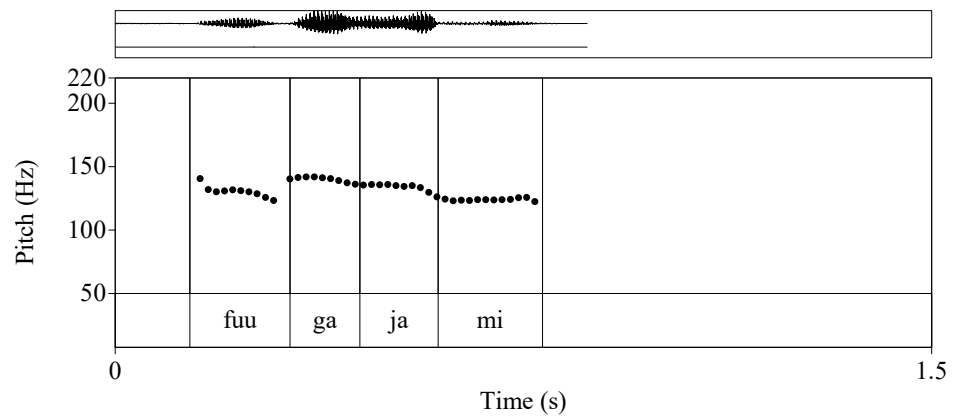
YNQの文末イントネーション

- =iをとるYNQは高くて平板な音調をとる



17a)

uri=ja fuuga=i?
 それ=TOP 卵=YNQ
 「それは卵か？」

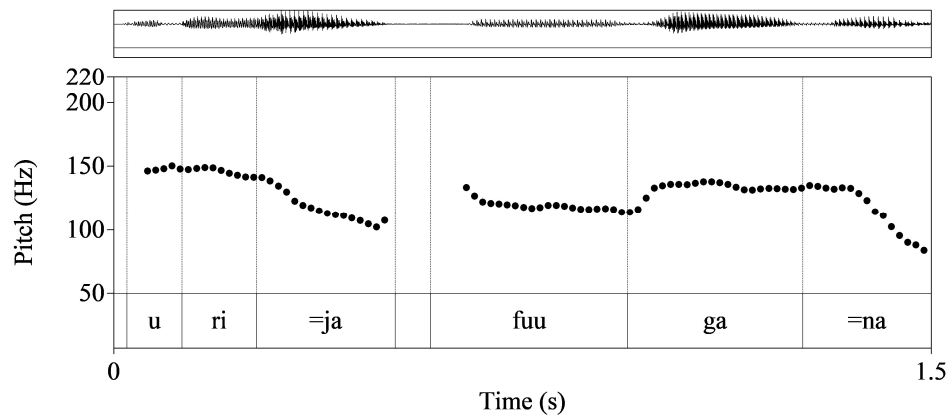


17b)

fuuga ja-m=i?
 卵 COP-IND=YNQ
 「卵なのか？」

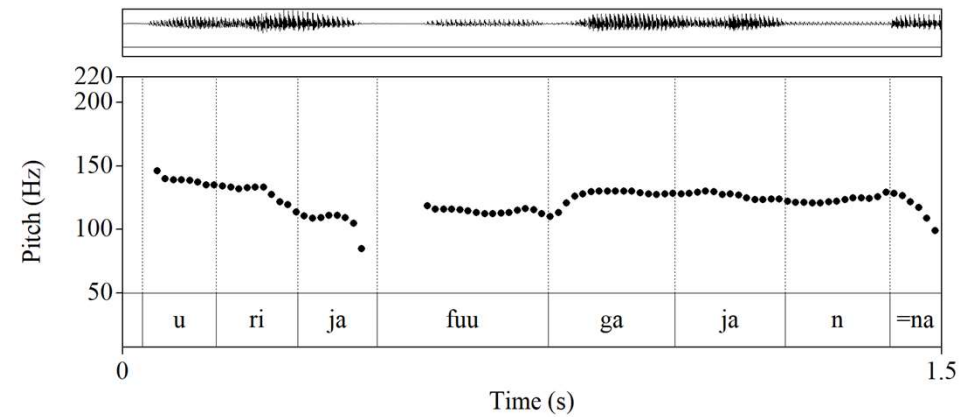
YNQの文末イントネーション

- =naをとるYNQは下降する音調をとる



18a)

uri=ja fuuga=na?
 それ=TOP 卵=YNQ
 「それは卵か？」



18b)

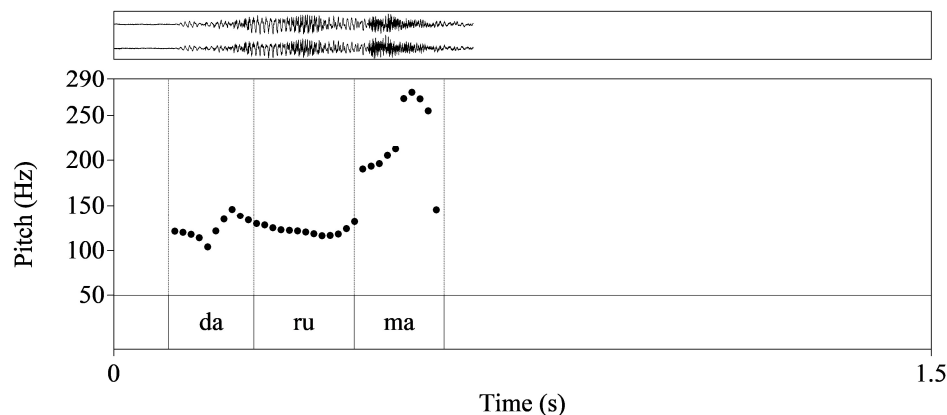
uri=ja fuuga ja-n=na?
 それ=TOP 卵 COP-IND=YNQ
 「それは卵か？」

疑問を表す形式がない場合

- 疑問を表す形式がない場合に、上昇調が見られる。
- ただし、典型的な質問文では疑問形式の省略が不可能
- 相手の発言を繰り返して質問するときのみ、上昇するイントネーションが見られる。
- これはいわゆるEcho question

疑問を表す形式がない場合

- 右の例は自然談話から抽出されている。
- 一人の話者が瓶玉を重ねたものを「だるま」と呼んでいて、理解しなかったもう一人の話者が繰り返して「だるま？」と質問する。
- このときに疑問標識がなく、上昇調が見られる。



19)

疑問文のイントネーションの実現の まとめ

- 以下、各場合のイントネーションの実現のまとめ。

		イントネーションの実現
WHQ	-(j)oo	下降調
	=ga	下降調
	疑問標識なし	不可
YNQ	=i	平板調
	=na	下降調
	疑問標識なし	上昇調

まとめ

すでにわかっていたこと

- 疑問を表す形式がない場合にのみ上昇する音調を取るという類型である

新しくわかったこと

- YNQで使われる=naという形式では下降が見られる
- =iを使ったYNQのデータと、WHQを使ったデータだけを見れば、WHQでは下降、YNQでは平板調があると解釈できそうだが、=naのデータではYNQでも下降音調が見られることがわかる。
- むしろ平板調として実現する=iが変

まだわからないこと

- 典型的な質問のイントネーションだけを見てきたが、今後は修辞疑問文など、他の疑問文の種類に着目し、イントネーションを調べる必要がある。

参考文献

Carlino, Salvatore (2018a) 「伊平屋島尻方言の疑問文の文末イントネーションについての初期報告」 日本音声学会第 337 回研究例会, 甲南大学.

Carlino, Salvatore (2018b) Sentence-final interrogative intonation in the dialect of Iheya, Okinawa. Paper read at the NINJAL ICPP 2018 – 5th NINJAL International Conference on Phonetics and Phonology. National Institute of Japanese Language and Linguistics, 29 October 2018.

Carlino Salvatore (2019) 「北琉球沖縄語伊平屋方言の文法博士論文」 博士論文、一橋大学.

Salvatore Carlino (2022) "Iheya (Okinawan, Northern Ryukyuan)" in Michinori Shimoji ed. *An Introduction to the Japonic Languages: grammatical sketches of Japanese dialects and Ryukyuan languages*, Brill.

木部暢子 (2010) 「イントネーションの地域差—質問文のイントネーション」 小林隆・篠崎晃一 (編) 『方言の発見：知らざる地域差を知る』 1–20. 東京: ひつじ書房

木部暢子 (2019) 「疑問文の文末音調による系統内類型論の試み—イントネーション研究のため に—」 『国語と国文学』 1142: 3–13

Yokoyama, Akiko (2021) The interrogative intonation in the Kunigami dialect of Okinoerabu, Ryukyu. *Journal of Japanese Linguistics* 37(2): 259–274.

略号一覧

ALL 方向格

COP コピュラ

EXM 例示

GEN 属格

IND 直説法

NOM 主格

PST 過去

QT 引用

WHQ 疑問語疑問文

YNQ YN疑問文

TOP 主題